

新潟県

# 公民館月報 6

平成11年6月号 通巻第556号

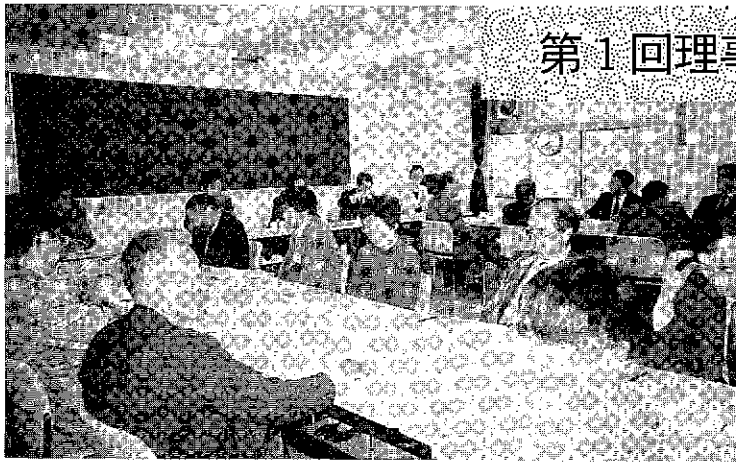


表紙 貴婦人『C57』  
春の阿賀野路を  
(五泉市公民館)

特集 衛星通信を利用した子ども放送局

視 点 いま2002年学校週5日制完全実施に思うこと  
ひろば 生涯教育の出発点として  
実践記録 地域に根づいた「市民学級」  
サークル交流 両津市民吹奏楽団(両津市公民館)  
Y.A.C.(湯沢町公民館)  
素顔拝見 町水竜彦さん(小千谷市)  
諸橋照美さん(吉田町)

# 第1回理事会・評議員会開催



## 平成11年度 基本方針・重点事業

### 社会の変化に対応した公民館運営を

#### ◆基本方針

- (1) 上部組織との連携・強化
- (2) 職員の資質向上
- (3) 情報提供事業の充実
- (4) 県公連の体質強化
- (5) 創立50周年記念事業の準備

#### ◆重点事業

- ① 関係上部組織との連携・強化
- ② 研修事業の充実
- ③ 「月報」紙面の充実・刷新
- ④ 自己財源確立のための努力・人件費削減・是正努力
- ⑤ 県当局への理解・協力要請

5月21日県公連第一回理事会(午前)、評議員会が、新潟市中央公民館で開催された。全評議員のうち31名が出席で会議は成立。来賓には、県生涯学習推進課補佐宮下祐一様、同課成人教育係長高橋久恵様をお迎えして定刻に開催された。

ご来賓を代表して宮下補佐様よりご祝辞をいただいた後、議長に渡辺副会長を選任、議事入り。

◆審議内容

一、平成10年度会務報告並びに歳入歳出決算の承認

二、平成11年度基本方針・重点事業並びに事業計画(事務局職員給与支給規程一部改正)と予算案の承認

三、第50回県公民館大会については、原案どおり承認

四、人件費削減・是正に伴う県公連規程の廃止についても承認

◆報告・連絡事項

(1) 優良公民館、永年勤続表彰等の提出について

(2) 公民館月報の購読数について

(3) 公民館月報の原稿執筆割り当てについて

(4) 平成11年度市町村負担金一覧表について

(5) 第50回県大会参加申込みの早期対応方について

◆情報交換

一、今井会長より

今国会提出の社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)(第百三十一条関係)の改正案について資料提示がなされ、今後の方向について若干のコメントがなされた。

二、各都市公連より

毎年恒例の、各都市公連持ち寄り資料の情報交換を、各公連代表からコメントしてもらったが、大変有意義であった。

とくに、各公連が、県外視察研修におけるマイクロバス借上げの工夫等についての情報交換は、具体的な問題だけに、大変参考になったようである。

#### 関プロ理事会開催さる

◆平成11年5月27日(木)～28日(金)

◆静岡市マイホテル竜宮

◆審議内容

(1) 平成10年度事業報告及び決算報告について

(2) 平成11年度役員選出について

(3) 平成11年度事業計画案及び予算案について

(4) 第40回関東甲信越静公民館研究大会について

(5) 第22回全国公民館研究会について

◆分科会の司会者及び基調発表者の推薦について

◆会場視察

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

◆新任公民館職員におすすめるハンドブック

**公民館経営の手引 第1集・第2集**

**公民館運営審議会委員の手引**

社会教育学級等における

**学習計画立案の手順と方法**

B5版 62ページ  
各500円(送料実費)

B5版 62ページ  
500円(送料実費)

B5版 41ページ  
500円(送料実費)

前横浜国立大学教授 吉川 弘著

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円

申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 ☎・FAX025-224-6073

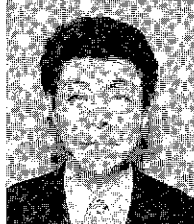
平成11年度 新潟県公民館連合会役員名簿  
平成11年度 5月21日現在

Table with 4 columns: 郡市名, 役職名, 氏名, 所属公民館. Rows are categorized by region: 下越地区, 中越地区, 上越地区.

※○印、平成11年度新任

視 点

近年、急激な経済社会の変化、受験競争の過熱化、家庭や地域の教育機能の低下など、子ども達を取り巻く環境は憂慮すべき状況にあり、戦後の青少年非行第4のピークとも言われていきます。今、私



中教審は第一次答申で「子どもの生活と環境を整備し、子どもが様々な体験を重ねることができるよう学校・関係機関・団体及び家庭の相互の連携、協力

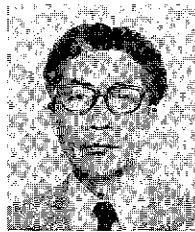
いま、2002年学校週5日制完全実施に思うこと  
内山 卯博  
と団体が結びつき、自発的・自主的に出来る事から出来る方法で活動を展開する組織、即ち単に学校・地域・家庭だけではなく3者が協働して創り上げる、

を促進することが必要である。」と提唱しています。このことから、従来の地縁や血縁等と言った「縁」による結びつきではなく、同じ目的、目標を持つ人々

第四の領域を創って行かなければならないと思います。2002年学校週5日制完全実施を見据えて家庭や地域、学校の様々な教育機能を融合し、その地域に根ざした地域づくりや子ども達の育成をするため、地域の拠点としてコーディネート出来る教育機関としての公民館が、努力する必要があります。次代を担う子ども達のために、(新潟市石山地区公民館 館長 内山卯博)

生涯教育の出発点として

——家庭教育と親の十訓——  
柏崎市公民館運営審議会委員 牧 口 忠 吾



確か2年前だと思えますが家庭教育フォーラムイン

柏崎に参加しました。その時私の心に感じたことと、自分のたどってきた人生とを比べながら一言述べますので宜しく判読していただきたいと思います。

ひ る ば

- 一、親は子どもに耐えることを教えよ
二、親は子どもに汗を流すことの喜びを教えよ
三、親は子どもに、強い人間は自分に厳しい人間だと教えよ
四、健康はやる気の根源と教えよ
五、親は子どもから手を離せ、目を離すな
六、親は子どもへの励ましの言葉を大切にせよ
七、友情は人生のかけがえない宝だと教えよ
八、親は一家の知性たれ
九、本を読めという親より本を読む親になれ
十、親は子どもに親の生き方を語れ。

今日の会場には、若い父母がぎっしりとつめかけておりました。会の形態ベネルスカッシュンで各年齢からのパネラーが研修主題である「生きる力をはぐくむ家庭」という立場から話が進められました。詳述できないのが残念ですが、まとめの中で今も心に残っていることは、「育児は育自」というこの四字ででした。生涯教育もこのことが出発点のような気がしてなりませんでした。そして、自分のたどってきた人生と比べて、私は自分なりにまとめたきた次のことと比べてみました。それは私が自分の子どもを育てるための「親の十訓」とい

# 子ども放送局

## 学習推進センター

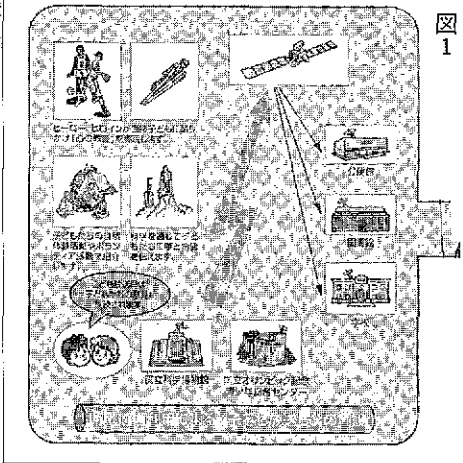


図1

はじめに

最近、新聞や雑誌あるいは文部省や教育委員会の広報資料などで子ども放送局という文字が目につくようになってきていますが、今回はこれについてご紹介します。

### 一、子ども放送局の趣旨及び背景

(1) 趣 旨  
文部省は、平成14年度の完全学校週五日制の実施に向けて、二〇〇一年度までに地域で子どもを育てる環境を整備し、親子とも達の様々な活動を振興するため、緊急かつ計画的に施策を推進することとし、平成11年度から全国子どもプラン(緊急三ヶ年戦略)を実施することと

しています。

子ども放送局は、この全国子どもプランの一環として実施される主要な事業の一つです。土曜日を中心に、一流のスポーツ選手などのヒーロー、ヒロインや科学者が、衛星通信を利用して全国各地の公民館や図書館などの受信先の子ども達に、夢や希望を語りかける番組を提供するものです。(図1参照)

### (2) 背 景

子ども放送局が提案された背景として、次のことが考えられます。

ア、中央教育審議会の答申  
平成10年6月30日の中央教育審議会の答申「新しい時代を拓く心を育てるために」において、心の教育の一環として、尊敬や

あこがれの対象となる大人、

ヒーローやヒロインが子ども達に対して、目標に向かって努力する意義、ルールを守ることの大切さなどについて語りかける機会を設け、また、子ども達の方からもヒーローに向かって質問をしたり、自分の思いを返していくといった相互の交流を通して、心の教育に役立てないか、という考え方が示されました。

一方、学校外の学習機会を活用して、科学に関する学習機会を増やそうということが提言されており、科学技術の第一線にいる研究者や技術者が、子ども達に直接語りかけていく機会を積極的に設けたいということもねらいとしています。

イ、教育情報衛星通信ネットワークシステムの整備

文部省では、昨今の情報通信技術の進展やISDN回数、衛星通信等による高度情報通信基盤の急速な整備・普及に伴い、これらを基盤としてマルチメディアを活用した教育や学習活動が徐々に普及しつつある教育分野の実態に対応し、平成7年度から衛星通信利用による公民館等の学習機能高度化事業など、衛星通信を利用した調査研究事業に取り組んで来ていました。その成果を踏まえて平成10年

度補正予算で、衛星通信を利用

した教育情報通信ネットワークシステムを整備しました。図2にあるように学校週5日制完全実施への対応の一つとして子ども放送局が位置づけられています。

以上のような背景と趣旨のもとで、衛星通信やインターネットを活用して、平成11年度から子ども放送局事業が実施されます。

### 二、具体的内容

この子ども放送局事業によって、具体的にどのようなものが整備され、それによって何が行われるかについて説明します。

#### (1) 受信環境の整備

文部省では、平成10年度補正予算の衛星通信利用による教育ネットワークモデル事業により、番組を受信する会場として、全国の図書館・公民館・生涯学習推進センター等の社会教育施設や、学校開放を積極的に推進している学校及び文化・スポーツ施設等一、一三四ヶ所の施設に衛星通信の受信環境(パラボアンテナ、チューナー、パソコン等)を整備してきました。また、平成13年度までに全国五〇〇ヶ所にこのような受信設備を整備するため、今年度から文部省の補助事業もスタートし

ています。

新潟県内において、現在受信環境が整備され、子ども放送局の受信が可能な施設は次のとおりです。

- ・ 県立生涯学習推進センター
- ・ 県立青少年研修センター
- ・ 県立少年自然の家
- ・ 糸魚川市民図書館
- ・ 長岡市青少年文化センター
- ・ 岩船地域広域教育情報センター
- ・ 両津市公民館
- ・ 中郷村総合文化会館
- ・ 柏崎市図書館
- ・ 亀田町公民館
- ・ 三条市立図書館
- ・ 五泉市総合会館
- ・ 燕市児童研修館
- ・ 安塚町市民会館
- ・ 新井市青少年学習施設わくわくランドあらい
- ・ 西川町公民館
- ・ 新発田市青少年健全育成センター
- ・ 津南町公民館
- ・ リージョンプラザ上越
- ・ 県教育庁生涯学習推進課

#### (2) 放送番組

子ども放送局の番組については、当面は学校が休業する土曜日の午前から午後にかけて放送され、その内容は次のようなものが考えられています。

ア、ヒーロー・ヒロインが直

# 学習情報提供 衛星通信を利用した

## 提供 新潟県立生涯

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステムの整備

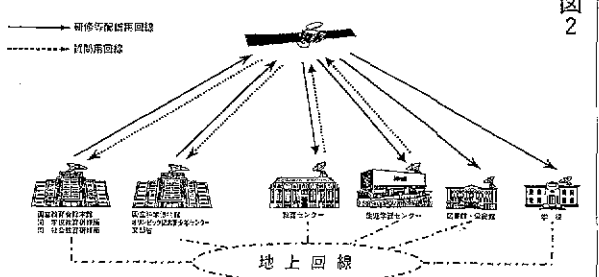


図2

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステムの整備

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステムの整備

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステムの整備

子どもに語りかけ「心の教育」に資する番組

イ、国内外の一流の科学者が、科学を通じて子ども達に夢と希望を伝える番組

ウ、特に優れた技術を有する職人等、社会を支える人々が、ものを造る喜びを教える番組

エ、自然体験、ボランティア活動等に関する情報提供を行う番組

オ、緊急の教育的課題に関し、全国の子どもや保護者に直接語りかける番組

カ、科学や自然の不思議、経済、社会の動き等に関する子ども電話相談室の開設

これらの番組は、テレビ番組のように一方的に見たり聴いたりするだけでなく、子ども達もその場で質問し、交流できるような双方向通信の仕組みで考えられています。当面は電話やファックス等により子ども達の質問を受けることになるようですが、今後はインターネットやISDN回線を利用したテレビ会議システムなどを活用することにより、全国の子ども達も番組に参加できるように考えられています。

なお、平成11年度番組の放送は、9月から予定されており、

その具体的な出演者やテーマ等は、現在主な発信会場となる国立オリンピック記念青少年総合センターを中心に検討されています。

三、子ども放送局プレ事業の状況

子ども放送局の平成11年度からの本放送開始に先がけ、3月13日に子ども放送局プレ事業が行われ、県立生涯学習推進センターも、テレビ会議システム利用による副会場として参加しました。この内容や状況などを紹介しておきます。

(1) プレ状況の概要

番組名 「わたしのチャレンジ」

日時 平成11年3月13日(土) 11時～16時

◎主会場 国立オリンピック記念青少年総合センター、NHK富士見グラウンド

◎副会場 県立生涯学習センターほか全国三ヶ所

◎総合司会 増田明美(マラソン)

◎ゲスト・宮崎史裕(剣道)

◎ラモス瑠偉(元プロサッカー選手)

◎川口和久(元巨人軍選手)

◎文部省・森田政務次官

(2) 放送の状況

当日は、森田文部政務次官の説明のあと、三人のゲストによる各分野の教室が開かれ、実技指導が行われました。衛星による画像及び音声は明瞭で、受信状況は非常に良好でした。

一方、双方向通信を特徴としている子ども放送局だけに、子ども達からの質問も一般会場からファックスにより多数寄せられていましたが、幸い、当センターは副会場となっていたため、参加した子どもが直接マンツーマン指導を受けることができました。こちらの子ども達の投稿システムを通して東京の川口選手や全国の参加者に送信しながら、同時に川口選手からはアドバイスや模範投球フォームの音声や映像が、当センターや全国会場に送られてくるという、まさにリアルタイムかつ直接的な双方向交流を経験できました。

(3) 今後の課題等

このようなプレ事業の状況でしたが、次のような課題も見えてきました。

ア、子どもが対象だけに、ただ見る・聴くを主体とした内容で長時間引きつけておくことは難しい。

イ、そのためには、魅力あるゲストと興味を引く内容の確保はもちろんのこと、できるだけ

多くの子ども達に双方向通・交流の機会を提供していけるかが重要となってくる。

ウ、テーマを単発で終了するものだけでなく、始めに子ども達に疑問や課題を投げかけ、それを一定のシリーズの中で解説し、感動を与えていくようなテーマも必要となるであろう。

エ、受信する施設の負担は、広報、機器のセッティング、会場整理等少なくないことから、何らかの人的対応が必要となってくるだろう。

四、むすび

平成14年度からの完全学校週5日制の実施に対応した目玉事業の一つであるこの子ども放送局は、図書館、公民館、生涯学習推進センター等の社会教育施設が、新しい角度から子どもを対象とした事業に取り組んでいくものであり、ある面では社会教育施設の新たな開放利用と言える。従って県立生涯学習推進センターにおいても、積極的に子ども放送局に取り組んでいくこととしており、できるだけ多くの番組を提供してゆきたいと考えています。

今後は、放送内容の情報提供とともに、子どもを中心とした活動のプログラム開発や学習相談事業に努めていきます。



# 実践記録シリズ(35)

## 地域に根づいた

### 『市民学級』

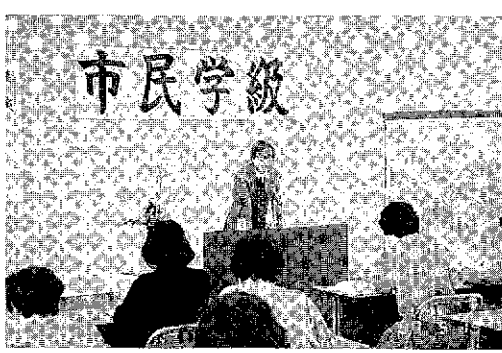
#### 実行委員会が企画運営

#### 新潟市曾野木地区公民館

はじめに

新潟市の公民館は、中央公民館の他に9地区館が設置されており、各館、横の連携を図りながら独自の事業を展開しています。

曾野木地区は新潟市の南に位置し、農村部と新興住宅地が混



## 市民学級

雑する地域です。地区公民館と

なつて11年になります。この地域は以前から公民館活動の活発なところですが、

#### 「市民学級」趣旨

生きがいを持って、健康で、楽しく生きていくためには、日々の学習活動が大切です。

「市民学級」は、市民の皆さまの身近な課題をテーマに企画した楽しい学習会を目指しています。

この学習会は、次の5つの目標を持っています。

- (1) 新しい出会いを求める。
- (2) 生きがいを発見し、毎日を楽しませる。
- (3) 時代の波に押し流されないよう努力する。
- (4) 何か地域社会のためになることをする。
- (5) より健康に、より楽しく、より元気に、より元気に。

#### 今までの取組み

「市民学級」は、平成6年度から開講しました。この前身は古くから開講していた「婦人学級」です。この婦人学級も参加者が減少してきており、

また男性の学習参加を望む声もでてきました。そこで男女を問わず参加でき、最近の社会情勢の変化に対応できるように、

時代に沿った身近な問題を取り上げて開催してきました。

内容については、有志で実行委員会を結成して

学習内容を検討し、運営しております。また講座の最後にアンケートを取るなど市民ニーズの把握に努めております。

開催当初の参加者は50

平成10年度市民学級 アンケート集計報告  
市民学級についてどう感じましたか？ 以下の設問の番号に○印をつけて下さい。

- ① 講座全体を通して
  - 1 充実した内容だった 34人
  - 2 むずかしかった 2人
  - 3 飽厭りなかつた 2人
  - 4 テーマが広すぎた 3人
  - 5 その他(専門的な語彙の語など難しすぎたところもあった。その日の先生によって1, 3にわかれる。) 3人
- ② 浅業について
  - 1 わかりやすかつた 33人
  - 2 専門用語が多く、わかりにくかつた 4人
  - 3 まとまりがなかつた 4人
  - 4 その他(その時による。ままああ。) 3人
- ③ 配布資料について
  - 1 わかりやすかつた 34人
  - 2 むずかしかつた 2人
  - 3 その他 4人(印刷の字が読みにくいものがあった。見易くしてほしい。)
- ④ 使用した機器(スライド、OHP、マイク)について
  - 1 妥当である 38人
  - 2 不適当(理由: ) 1人
  - 3 他の機器も使用してほしかつた(具体的に: マイクをタリップワイヤレス方式に) 4人
  - 4 その他( )
- ⑤ 運営費について(今回の運営費は5000円)
  - 1 妥当 32人
  - 2 安い(2000円位が妥当) 1人
  - 3 高い(1,000:7000円位が妥当) 14人
- ⑥ 講義回数について(今回の市民学級は9回)
  - 1 ちょうど良い 35人
  - 2 もっと増やしてほしい(11:12回位が妥当) 4人
  - 3 もっと減らしてほしい( 自位が妥当) 2人
- ⑦ 1回あたりの講義時間について(今回の市民学級の時間は2時間)
  - 1 ちょうど良い 45人
  - 2 もっと長い方がよい(2時間30分位が妥当) 1人
  - 3 もっと短い方がよい(1時間30分位が妥当) 3人

平成11年度「市民学級」学習計画

テーマ	内容	講師
1 開講式(講演) 楽しく生きる	・あなたの宝物 ・いま感動浴の時代	NIKK学園川柳講師 大野 良樹
2 (講義) 米の関税化と台所	・世界の米事情 ・日本の米事情	信州大学名誉教授 伊藤 喜雄
3 (講演) 差別を考える	・基本的人権とは ・日常生活の中の差別 ・差別用語あれこれ	新潟県公民館連合会事務局長 鈴木 友夫
4 (講義と実技) 心と身体のリフレッシュ ~その1~	・健康に過ごすために ・操体法の呼吸	木戸病院医師 須永 隆夫
5 (講義) 川の歴史 郷土の歴史	・川の湯の恵み ・水と戦った人々	郷土史研究家 打越 賢郎
6 (講演) いきいきと暮らすために	・ロングライフ時代を心豊かに生きる ・友達づくりと地域づくり	教育コンサルタント 田中カツイ
7 (現地研修) 歴史・文学散歩	・東蒲地方の歴史と文学探訪	文芸評論家 若月 忠信
8 (講義) 開近に迫った介護保険	・社会保険と介護保険 ・介護保険の認定基準 ・長生きを言べる制度に!	新潟医療生協常務理事 潮田 俊夫
9 (講義と実技) 心と身体のリフレッシュ ~その2~ 開講式	・健康に過ごすために ・健康体操のやり方	健康生きがいづくりアドバイザー 伊藤ユキエ

人位でしたが、平成9年度は75人、平成10年度は最終的には90人、平成11年度もすでに80人を越えています。この市民学級も、地域に定着した講座となったことを職員一同嬉しく思っています。

をおくる」というものから介護問題、歴史、政治と多岐にわたっています。また、公民館のホールでの講演だけでなく、秋にはバスで「良寛」等をテーマにした歴史、文学の現地研修をして見聞を広めています。おわりに 昼間の公民館事業としては多くの参加者があり、主として高齢者ですが女性だけでなく男性が40%も占めています。これからも時代にあつたテーマをもとに、より多くの人達に参加してもらえような講座になればと願っています。

# サークル交流

## 心を一つに合わせて

### 両津市民吹奏楽団

私達市民吹奏楽団は、小学生から大人まで、幅広い年齢の人が集まっているサークルです。結成から約25年が経ち、現在23名で活動しています。普段はそれぞれ別の仕事をしていますが、楽器を手にすると、ガラッと人が変わり、音楽の世界にどっぷりはまってしまう。

主な活動内容としては、八月に行われる成人式と、十一月に開かれる芸能祭で、みなさんに親しみのある曲を演奏していま



す。仕事の都合などで練習にこない場合もありますが、いざ本番となると、心を一つにし、とてもきれいな音楽となります。初めは速さも合わず、とまどうこともありましたが、毎週の練習のおかげで、少しずつ上達していきます。私も団員として活動していますが、最初は音を出すのも大変でした。でも今は、みんなと一緒の曲を演奏することができ、とても楽しくなりました。音楽に興味のある方、我等が両津市民吹奏楽団に入団してみたいかがでしょうか。

### （両津市民吹奏楽団）

佐藤和音（中1）記

### バラバラ マチマチ

### サークル

Y・A・C

火曜の夜、7時30分頃にポチポチ集ってくるのが、サークルY・A・Cです。湯沢エアロビクスクラブの頭文字をとってY・A・Cなのですが、一面鏡張りのスタジオでペリペリ踊っている訳ではありません。年齢層は50代から高校生まで。エアロビクスも10年近くやっている人もいれば今日が全く初めてと



いう人もいます。それでも各々が自分のペースで楽しく運動しています。リズムに乗って体を動かす、ダンベルで引き締めたつもりになり、最後にゆっくり時間をかけてストレッチをしてリフレッシュします。

ポチポチ集まると書いたのは参加人数が季節によってマチマチだからです。湯沢はスキーが町の産業の多くを占めているので、冬は皆忙しいのです。夏は15人程になる参加者が、冬はたったの3人という週もあります。

このように、年齢もキャリアも人数もバラバラながら、5年目になりました。これからもこのバラバラのまま長く続けていけたらと思っています。

（Y・A・C 里吉常代 記）

### 小千谷市社会教育課・公民館

### 主事 町永竜彦 さん

新採用として今年の4月から公民館に配属となった彼を紹介することは非常に難しい。その上無口な人間であることが、そのことに拍車をかけている。



えもん、映画は「男はつらいよ寅次郎シリーズ」そして

散歩と旅行が好き מאוד。そういうえば、なんとなく渥美清に似ているような？  
担当事業は高齢者学級と美術工芸教室。運転免許がなくても社会福祉士の資格がある彼にはまさに天職のようにも思える。きつと徐々に隠された才能が発揮されるだろう。

そういえば、越路町出身の彼は今、独り暮らしで独身。だれかお似合いの彼女を紹介してくれないだろうか。  
（小千谷市社会教育課・公民課 安達 仁 記）

## 素顔 拝見

### 吉田町公民館

### 主事 諸橋照美 さん

九年の九月という年度途中に異動してきて、僅か一年半で彼女は、公民館になくてはならない大きな存在の人となりました。

その訳は、公民館を訪れた人に困った人が居れば、すかさず手を差し延べ、細かい心配りをしてくれますし、また、誰にも笑顔で暖かく対応し、決して相手の方に不快な感じを与えない人です。誰からも「照美ちゃん」と親われている。

また、年間をとおして、次々と実施する公民館事業をスムーズ



「町民茶会」は、影の力となり、各茶室の連携を計って活躍である。

また、子育て支援として始めた「ふれあい教室」の企画等もこなし、あわただしい日々を送っている。今年、長男が保育所に入所、現在、親子共々泣きだして頑張っている。いつか公民館活動に生かせるぞと。

（同館長 大岩ケイ 記）

恵贈資料紹介

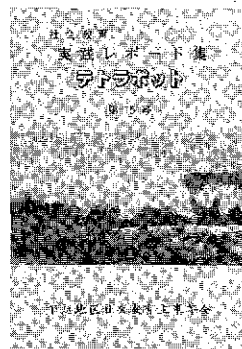
社会教育実践レポート集

テトラポット第15号

下越地区社会教育主事等会



「テトラポット」この標題に触れ、大変懐かしく感じられる方々も多かろうと存じます。とくに下越地区社会教育関係職員の方々は、実践レポートの投稿、随想の発表等をおして、仲間たちと共に育った思いをお持ちのことと存じます。表紙裏には、テトラポット命



名のその由来が囲みで掲載され、その意味を噛みしめることもできました。

この15号にも、いくつかのすばらしい実践記録が目につきます。私ども月報関係者も、この中から実践シリーズに執筆依頼したくなる程充実した内容です。また、随想欄では、大先輩の会員の方をはじめ、県行政の方、現在中堅職員としてバリバリ活躍している方の名もお見受けし、懐かしい思いで読ませていただきました。

恵贈資料紹介

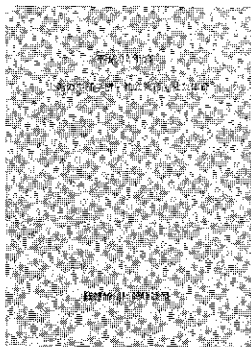
平成10年度

上越の生涯学習・社会教育・社会体育

上越教育事務所社会教育課

また今年も上越教育事務所社会教育課から、「上越の生涯学習・社会教育・社会体育」が恵送されて参りました。

毎年度、管内市町村の豊富なすばらしい実践事例が満載され私ども月報関係者は、いつもこの中からいくつか実践シリーズで紹介させていただいております。今回も、青少年にたくましさ



と国際感覚を」と銘打ったチャレンジクラブの実践活動、家庭教育セミナー「プラス思考で子

育て」、頸南5市町村広域連携事業の一つ「頸南マルチメディアフェスティバル」、村民参加率を競う「チャレンジデー98」、手軽にできるニュースポーツ「トランポビクス」で健康づくり等、紙面では紹介しきれない程の実践事例が沢山ありました。また今年度も各市町村で継続実践され、事例集録されんことを祈念しております。

あとながき

◇54回県展書道部門で、当県公連今井昭友会長が奨励賞受賞、というビッグニュースが飛び込んで参りました。審査評によると、作品「良寛詩」は、氣迫、線の強さで県展賞を最後まで

競ったそうです。受賞を心よりお祝い申し上げます。◇第50回県公民館大会も南魚沼郡公連、中公連等のご尽力により順調に動き始めております。7月8日、六日町文化会館でぜひお会いしましょう。(鈴木)

表紙解説

賞婦人「C57」春の阿賀野路を

磐越西線に復活した「S」しばんえつ物語」号、田植の終えた蒲原平野の水田地帯をさっそうと走る姿は、人々の懐かしい想いを今に。

(五泉市公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共・年極1,800円】

**新山協「中高年登山教室」募集要項**

高齢化社会にあって健康保持のため、北信濃の自然と共に安全で楽しい登山とは何かを学び、有意義な一日を過ごしませんか。

内容 山での歩行 読図 衣食 装備 自然観察 マナー等の基礎知識習得

日時 9月11日(土)～9月12日(日) 1泊2日  
集合 9月11日 9時 出発 9時半  
解散 9月12日 20時  
集合解散は新潟市宮陸上競技場前

会場 長野県 飯綱山(標高1,917m)

主催 新潟県山岳協会(中高年登山委員会主管)

対象 中高年齢者

参加費 18,000円 交通費 宿泊費 保険料 他を含みます。

申込方法 郵便振替 00680-8-6090 中高年登山委員会  
降込料120円は申し込み者負担 住所 氏名 電話番号の他 通信欄に年齢血液型を記入して下さい。

定員と締切 振込確認先着順104名で締切(6月末) 振込み後の取消は7月22日(木)迄とし、その後の取消は返金致しません。登山要項は6月上旬以降お送りします。

問い合わせ 0250-62-6647坂井 025-265-4495加藤  
夜025-267-0701中村 025-260-3018佐々木

後援予定 新潟県教育委員会 新潟県体育協会  
新潟県長寿社会振興財団 新潟県公民館連合会  
新潟市教育委員会 新潟市体育協会